

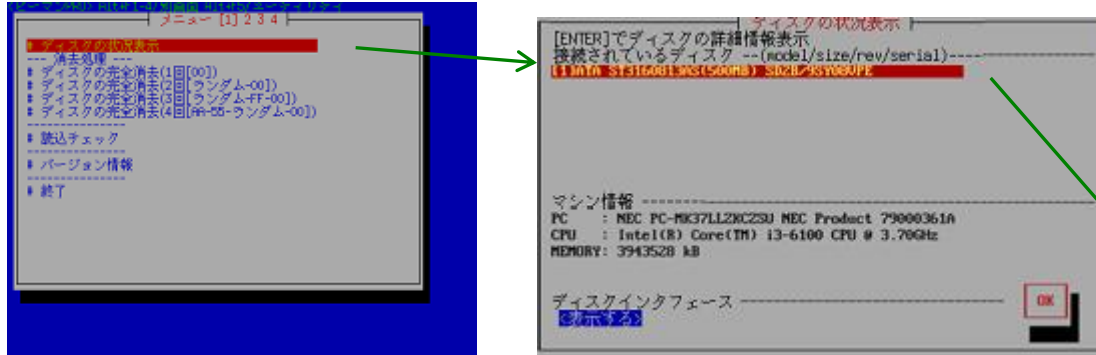
セキュア消去(SecureErase/Sanitize)の実行

[GreenPepper PRO] Tutorials

1 「ピーマンPRO」の「起動消去プログラム」が起動すると、右のようなメニュー画面が表示されます。

「セキュア/サニタイズ消去処理」のメニューはセキュア消去/サニタイズ処理が実行可能なディスクが接続されている時のみ表示されます。
メニューが表示されている時は、メニューを選択し、実行することで「セキュア消去/サニタイズ」処理が可能です。

2 下の画像のように、「セキュア/サニタイズ消去処理」メニューが表示されていない場合でも、処理が可能な場合があります。



凍結 (Frozen)状態

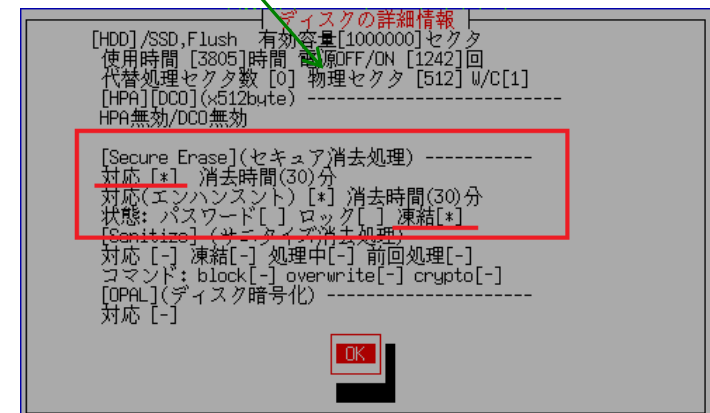
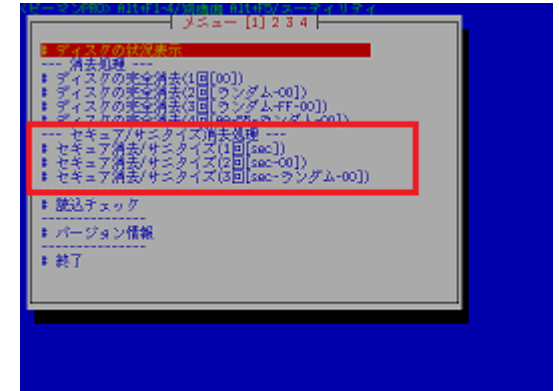
実は、あまりに古いものではないATAドライブ(SATA)は、ほとんどがセキュア消去に対応しています。

メニューから「ディスクの状況表示」で表示される画面で、ディスクを選び[enter]を押します。右の「ディスクの詳細情報」が表示されます。

[Secure Erase]で“対応[*]”となっている場合、ドライブはセキュア消去に対応しています。また、多くの場合、“凍結[*]”となっています。

これは、セキュア消去に対し「凍結(Frozen)」となっていて、処理ができない状態であることを示します。ドライブは電源ONのすぐ直後は凍結されていません。その後、PCの基本ファームウェア (BIOS,UEFI)が、ドライブに対して「凍結」するコマンドを送ることで、この状態となっています。

このことは、もちろんセキュリティ的な意味でなされていることですが、セキュア消去を実行するうえでは、大きな妨げとなっています。



3

凍結解除の方法

前にも書いたように、ドライブは電源ONの直後は必ず凍結解除の状態です、その後、PCにより凍結コマンドが送られています。ですから、論理的には、PCが起動しプログラムが動作している時に、一時的に電源をOFF/ONすればいいことになります。

2つの方法:

1. サスペンド/レジュームを行う

これは安全で推奨される方法です。ただし、PCによってはサポートされません。

メニューが表示されている時に、Alt+F5キーを押すことで「ユーティリティメニュー」が表示されます。また、Alt+F1 (F2,F3,F4)で、元の画面に戻ります。「ユーティリティメニュー」で、「セキュア消去設定/凍結解除」を選びます。表示される画面では、各ドライブの凍結状態、セキュア消去への対応状態が表示されます。[tab]キーでカーソルを送り、「凍結解除」で[enter]キーを押し、実行します。

処理が成功すると、一旦電源がOFFのサスペンド状態になったあと、ON-レジュームになり、処理前の画面が再び表示されます（解像度の変更になる場合があります）。PCが処理に未対応の場合、その旨のメッセージが表示されるか、サスペンド後、画面が真っ黒のまま何も表示されないなどの状態となります。



2. PCが稼働しメニュー表示の状態、SATAの電源ケーブルを抜き、挿しなおす

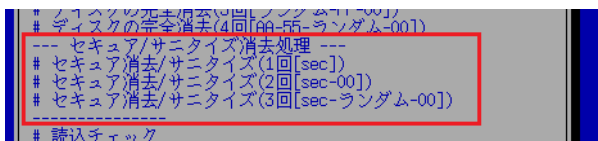
これは危険な方法です。ディスクドライブ、電源ユニットなどが故障する恐れがありますので、自己責任でお願いします。

特にSSDでは、電気的なショックにより使用不可になる場合があります。

古くからのATA(IDE)電源ケーブルでは絶対に行わないでください。SATA電源のみ可能な場合があります。

また、ノートPCなどでは、構造的に実行できません。

4



解除が成功すると、メニューに「セキュア/サニタイズ消去処理」のメニューが表示されますので、選んで実行してください。